



**(社)日本品質管理学会
医療の質・安全部会 第2回総会**

部会長 棟近雅彦(早稲田大学)
副部会長 永井庸次(水戸総合病院)
副部会長 水流聡子(東京大学)

1



活動経過


□第1回総会

– 2005年12月10日 於：日科技連

1. 部会の設立にあたって：部会長 棟近雅彦
2. 研究紹介
 - 1) 医療機関における質マネジメントシステム－ISO9001の活用－：棟近雅彦
 - 2) 患者状態適応型パス(PCAPS)に関する研究：水流聡子
3. 今後の部会活動に関する討議
 - 1) 幹事会
 - 2) その他

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

2



活動経過


□役員

- － 部会長：棟近雅彦
- － 副部会長：永井庸次，水流聡子
- － 幹事：池田俊也，末安いずみ，福丸典芳
- － 会計担当：加藤信子，永松美香子→岡田優子

□部会員数

- － 発足時：約100名
- － 2006年8月末：約190名

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 3



活動経過


□PCAPSワークショップ

- － 2006年3月12日 於：早稲田大学

□研究発表会・部会セッション

- － 2006年5月26, 27日 於：日科技連
- － パネルディスカッション
 - ・ 「医療の質－若手研究者による討論会－」
- － シンポジウム
 - ・ 「医療健診連携－ひたちなか元気アップ健診事業－」

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 4




活動経過

□ PCAPS中間成果報告シンポジウム

- 2006年9月9日 於:早稲田大学
- 第Ⅰ部 標準コンテンツ相互レビューポスターセッション
- 第Ⅱ部 研究フレームとアウトプット
- 第Ⅲ部 標準コンテンツ相互レビューワークショップ
- 第Ⅳ部 質経営ツール「PCAPS」熟考
- 研究報告:PCAPSによるDPC評価の可能性
- 講演:DPC導入病院における質経営意識の必要性
 - ・ 飛永晃二(健康保険諫早総合病院院長)
- パネルディスカッション
 - ・ DPC評価改善ツールとしてのPCAPS電子カルテの可能性

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 5




活動経過

□ 医療のための質マネジメント基礎講座(毎回約70名の受講者)

- 第1回 「医療の質用語事典」を読み解く
 - ・ 2006年4月22日(土)9:30~12:30
 - ・ 早稲田大学理工学術院 教授 棟近雅彦
- 第2回 PCAPSの基本
 - ・ 2006年4月22日(土)13:30~16:30
 - ・ 東京大学大学院工学系研究科 助教授 水流聡子
- 第3回 プロセス指向を実践する事故分析手法POAM
 - ・ 2006年5月21日(日)9:30~12:30
 - ・ 早稲田大学理工学術院 教授 棟近雅彦
- 第4回 医療におけるQMS入門
 - ・ 2006年5月21日(日)13:30~16:30
 - ・ 日立製作所水戸総合病院 院長 永井庸次
 - ・ 早稲田大学理工学術院 教授 棟近雅彦
- 第5回 医療のためのエラーブルーフ入門
 - ・ 2006年6月24日(土)9:30~12:30
 - ・ 中央大学理工学部 教授 中條武志
- 第6回 KYT(危険予知トレーニング)と5S
 - ・ 2006年6月24日(土)13:30~16:30
 - ・ (有)福丸マネジメントテクノ 代表取締役 福丸典芳

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 6




活動経過

□品質誌Vol.36,No.2：特集「医療の質・安全」

- 「医療質・安全学の構築に向けて」飯塚悦功(東大), 棟近雅彦(早大)
- 「患者状態適応型パスシステムと医療質経営」水流聡子(東大), 棟近雅彦(早大), 飯塚悦功(東大)
- 「医療経営の総合的「質」研究会の活動」池田俊也(慶応大学), 飯田修平(練馬総合病院), 佐伯みか(練馬総合病院), 田村誠(日本ガイダント株)
- 「医療情報システムと医療の質・安全」大江和彦(東大)
- 「ヒューマンエラーと医療の質・安全」中條武志(中大)
- 「日本品質管理学会医療の質・安全部会のめざすもの」棟近雅彦, 水流聡子, 永井庸次
- 「水戸総合病院における医療の質向上活動」永井庸次(水戸総合病院)
- 「麻生飯塚病院における医療の質向上活動」安藤廣美(麻生飯塚病院)
- 「武蔵野赤十字病院における医療の質向上活動」矢野真(武蔵野赤十字病院)
- 「東大病院の医療安全対策」永井良三(東京大学附属病院)

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

7



活動経過

□部会ホームページの立ち上げ

(社)日本品質管理学会

医療の質・安全部会

会長：棟近雅彦（早稲田大学教授）
 副会長：永井庸次（日立製作所水戸総合病院院長）、水流聡子（東京大学大学院助教）


医療の質・安全部会とは
 医療の質・安全の向上という社会的課題に対して、医学系だけでなく、工学系との共同で「医療の質マネジメント」に取り組むことの重要性が認識されてきています。より多くの方の認識を高め、課題を達成するためには、医療の質・安全を主要な研究領域とした医学系、工学系の融合の場が不可欠です。そこで、2005年9月に、(社)日本品質管理学会内に「医療の質・安全部会」が設立されました。

- What's New!
- 医療の質・安全部会のウェブサイトを開発しました(2006年10月20日)。 [K&ID](#)
- 入会案内・部会の概要
- 当部会の概要 [\[PDF\]](#)
- 当部会の活動計画 [\[PDF\]](#)
- 入会について
- 当部会からのお知らせ
- 「医療のための質マネジメント基礎講座」2006年9月、10月、11月開催 [\[PDF\]](#)
 申込書 [\[Excel\]](#) → [延期になりました。](#)
- 他団体のお勧め情報
- 特になし
- リンク
- [医療安全と質を保障する患者状態適応型パス統合化システム開発研究](#)
- お問い合わせ


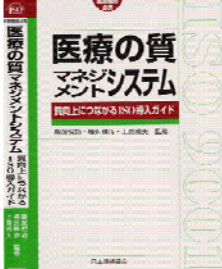

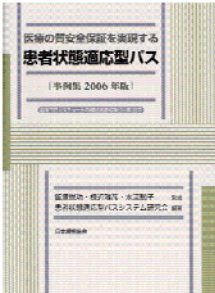

医療の質・安全部会に関するお問い合わせは下記事務局までお願いいたします。
 医療の質・安全部会事務局(加藤、岡田)
 TEL: 03-5286-3304 FAX: 03-3232-9780
 E-mail: secretary@qm.mgmt.waseda.ac.jp

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

8



活動経過

Waseda Univ. Prof. M.Munechika 9



会計報告(決算)

科 目	予算額	決算額	増減	備考
I. 収入の部				
1. 事業収入		3,552,355		
(1)基礎講座収入		1,602,880		
(2)シンポジウム収入		0		
(3)委託研究費収入		1,949,475		
2. 部会費収入		360,000		
(1)部会費収入		360,000		
当期収入合計		3,912,355		
前期繰越収支差額		0		
収入合計		3,912,355		

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	増減	備考
II. 支出の部				
1. 事業費		1,865,185		
(1)基礎講座支出		888,298		
(2)シンポジウム支出		976,887		
2. 管理費		361,925		
(1)会合費		0		
(2)旅費交通費		0		
(3)通信費		68,887		
(4)印刷費		24,375		
(5)備品・消耗品費		268,663		
3. 予備費				
(1)予備費		0		
当期支出合計		2,227,110		
当期収支差額		1,685,245		
次期繰越収支差額		1,685,245		

Waseda Univ. Prof. M.Munechika 10



会計報告(予算)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I. 収入の部				
1. 事業収入	2,000,000			
(1)基礎講座収入	1,500,000			
(2)シンポジウム収入	500,000			
2. 部会費収入	360,000			
(2)部会費収入	360,000			
当期収入合計	2,360,000			
前期繰越収支差額	1,685,245			
収入合計	4,045,245			

(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II. 支出の部				
1. 事業費	1,400,000			
(1)基礎講座支出	800,000			
(2)シンポジウム支出	600,000			
2. 管理費	540,000			
(1)会費	100,000			
(2)旅費交通費	50,000			
(3)通信費	80,000			
(4)印刷費	10,000			
(5)備品・消耗品費	300,000			
3. 予備費	100,000			
(1)予備費	100,000			
当期支出合計	2,040,000			
当期収支差額	5,245			
次期繰越収支差額	1,680,000			

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

11



部会の意義

□ 医学・工学の連携


- 「医学系と工学系の実務家、研究者が、共同で医療の質・安全に関する課題に取り組むことは大変有意義である」
- 製造業、一部のサービス業が中心であった適用領域の拡大

□ 医療の質・安全を主要な研究領域とし、医学系、工学系が融合する場を提供する

- 医療の質マネジメントに関する課題は山積
- 医療者と質マネジメントの専門家が議論する
- より多くの質マネジメント推進経験者に流入してもらう
- 医療者は専門領域を越えた自由な議論を行う

Waseda Univ. Prof. M.Munehika


12



活動計画

- 研究テーマ
 - PCAPS
 - 医療の質マネジメントシステム
 - DPC
- シンポジウム
 - 2007年3月10日(土) PCAPS成果報告
 - 2007年3月11日(日) 医療の質マネジメントシステム
 - ・ 導入・推進方法
 - ・ 電子カルテと医療QMS
 - ・ 医療QMSの評価方法 etc.
 - 2007年9月頃 PCAPSと電子カルテ
 - 2008年3月頃 医療のTQM

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 13



活動計画

- 研究発表
 - 2007年5月 研究発表会・部会セッション
 - ・ 地域連携, 疾病管理, 健診－医療連携
 - 品質誌への投稿
- 研究会の発足
 - 部会員による共同研究, 議論の場の提供
 - 研究テーマ候補
 - ・ 医療QMSの評価方法(審査, 監査, 自己評価等)
 - ・ 医療版TQM9000
 - ・

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 14



活動計画

□広報と部会員増強

- 目標：第37年度部会員数300名
- 医療関係学会，雑誌，医療機関等への広報
- 医療関連学会との連携事業，共同研究
- ホームページの充実

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

15




活動計画

□医療のための質マネジメント基礎講座

- 医療安全管理者の認定コースの関係から，2006年後期の講座は延期中
- 認定に関する調査結果
 - ・ 公式の認定コースというのではない
 - ・ 基準は明確でない
 - ・ 厚労省が認定するものではない
 - ・ 後述の条件を満たすセミナーを修了した人が，各自治体に申請して，自治体が医療安全管理者として認める
 - ・ 一つのセミナーだけで要件を満たす必要はない

Waseda Univ. Prof. M.Munehika


16



医療安全対策加算(入院初日50点)

- 医療安全対策加算は、組織的な医療安全対策を実施している保険医療機関を評価したものであり、当該保険医療機関に入院している患者について、入院期間中1回に限り、入院初日に算定する。
- 組織的な医療安全対策とは、医療安全管理部門に所属する**専従の医療安全管理者**が、医療安全管理委員会と連携しつつ、当該保険医療機関の医療安全に係る状況を把握し、その分析結果に基づいて医療安全確保のための業務改善等を継続的に実施していることをいう。
- 医療安全確保のための職員研修を計画的に実施するとともに、医療安全管理者が必要に応じて各部門における医療安全管理の担当者への支援を実施し、その結果を記録していること。

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 17



参考(平成18年3月31日事務連絡)

問1 医療安全管理者とは看護師又は薬剤師でなければならないのか。

答 適切な研修を受けた医師，看護師，薬剤師等の医療有資格者であり，事務職員は含まれない。

Waseda Univ. Prof. M.Munehika 18



参考(平成18年3月31日事務連絡)

問2 適切な研修とはどのような研修か。

答 国および医療関係団体等が主催する研修であって、医療安全管理者として業務を実施する上で必要な内容を含む通算して40時間以上又は5日程度の研修。講義又は具体例に基づく演習等により、医療安全に関する制度、医療安全のための組織的な取組、事例分析・評価・対策、医療事故発生時の対応、コミュニケーション能力の向上、職員の教育研修、意識の向上等について研修すること。

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

19



検討中の医療安全管理者業務指針

I. 医療安全管理者の業務

1. 事故を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック
2. 医療事故に対する対応、情報収集、分析、対策立案、フィードバック

II. 医療安全管理者が業務を遂行するために必要とされる能力

- 1) 情報収集に必要な能力
- 2) 医療安全に資する分析を行うための能力
- 3) 医療安全推進のための組織構築に必要な能力
- 4) 研修の企画・運営に必要な能力
- 5) 事故発生時に適切に対応する能力

Waseda Univ. Prof. M.Munehika

20



活動計画

- 医療のための質マネジメント基礎講座
 - 品質管理学会ならではの講義科目
 - 他学会と連携して要件を満たす
 - 早期の再開をめざす
- 医療のための質マネジメント応用講座
 - 医療の質, マネジメントに関するプロを育てる
 - 医療のTQMへ